

# 見学感想文

ユン ジェホ

## 1. 概要

- 1) 名称：愛知県心身障害者コロニー
- 2) 見学日時：2007年6月6日(水) 13:00 ~ 14:30
- 3) 見学団体：二木ゼミ生たち
- 4) ホームページ：http://www.pref.aichi.jp/hsc/

## 2. 見学内容

二木ゼミ生たちと学期1回ある見学に参加した。障害者の施設で韓国と見学する方の違う面と日本で歴史がある施設の今を見たいいい見学だった。

施設は 重症心身障害児施設、知的障害児施設、障害者支援施設、障害者支援施設、短期母子療育施設、中央病院、春日台職業訓練校、春日台養護学校、発達障害研究所、あいち発達障害者支援センター<sup>1</sup>で障害者に総合的なサービスがあっていた。

見学は施設について一般的な紹介、春日台職業訓練校、病院のハビリテーションをした。理学療法と作業療法の違いものと、ハビリテーションの概念について説明をされました。二木ゼミは医療ソーシャルワーカーになる予定がある学生が多かったので特に興味が多く見えた。

## 3. 結論

愛知県心身障害者コロニーは長い伝統を持っている障害者の施設ので広い規模を持っている。規模は韓国の大きい法人形福祉の施設と似ている。

それは障害者が一緒に集まって生活するようには便利とかも知らないが、社会の非障害者と別れている生活の拠点はすなわち社会的の孤立が誘導される。韓国の場合はVolunteerが多くて施設の色んな所で活動しながら障害者と非障害者と接触に会ながら社会になれる機会を作る。

愛知県心身障害者コロニーは年間、約3,853人<sup>2</sup>が来るので一日平均10人のVolunteerが来るのですが、大きさよりは少ないと思う。もちろん日本はNormalizationの概念でGroup Homeとか色々な福祉システムがあると思いますが、その社会的孤立は大きいと思います。

日本は韓国より施設的环境、福祉システムが上とっていますが、歴史があるこんな施設で社会的な孤立についてはまた考えるのが必要思う。

日本でゼミと一緒に行く見学、歴史がある障害者の施設について理解できるいい見学だった。

---

<sup>1</sup> <http://www.pref.aichi.jp/hsc/colonyoutline.html>

<sup>2</sup> 2006年 愛知県心身障害者コロニーにきたVolunteerの数、同じ人が二日2回来たら2名に計算(2007年現在1,500人)

#### 4. 写真



3

---

<sup>3</sup> 個人のPrivateのため写真はできなかった。